

平成21年9月7日

保護者様

仙台市立仙台高等学校  
校長 山村 悦夫

## 新型インフルエンザへの対応について(連絡第4号)

初秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先日も新型インフルエンザへの対応についてお知らせいたしましたが、夏休みが明け学校が再開後、9月2日現在、市立学校において小学校2校、中学校1校の学級閉鎖・学年閉鎖が行われるなど、市内で新型インフルエンザの流行は急速に拡大しています。

今回の新型インフルエンザについては、生徒に免疫がないことなどから感染が拡大しやすいとともに、慢性呼吸器疾患や慢性心疾患などの基礎疾患を有する生徒が感染した場合の症状の重症化が懸念されます。

つきましては、保護者の皆様に、お子さんの健康管理に改めてご留意いただきたく、その対応について再度お知らせいたしますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 記

#### 1 健康管理の徹底について

- (1) 毎朝お子さんの体調を観察するとともに、必要に応じて検温するなど、健康状態の把握に努めてください。なお、お子様の体調が優れない場合は、無理をさせず学校を休ませるようご配慮ください。
- (2) 発熱・咳・鼻水・のどの痛み等の症状がある場合は、早めに医療機関に連絡の上、受診させてください。なお、インフルエンザと診断された場合は学校への連絡をお願いします。
- (3) 登校後、高熱・咳が認められるお子さんについては、学校から保護者の皆様に連絡の上、帰宅することになりますので、学校との連絡方法を確認しておいてください。
- (4) 帰宅後の手洗い・うがいを徹底してください。
- (5) 外出にあたっては、人混みをなるべく避けるとともに、「咳エチケット」の徹底をお願いします。

#### 2 新型インフルエンザの重症化を避けるために

心臓疾患、腎臓疾患、糖尿病、ぜんそくなどの基礎疾患をお子さんが有する場合には、感染しないよう早めの対応が必要とされておりますので、校内で新型インフルエンザが発生した場合の登校の是非など主治医等と確認していただくようお願いいたします。

なお、主治医から「学校内でのインフルエンザの発生状況から、お子さんがインフルエンザに罹患していなくても、学校を休ませることが望ましい」旨お話しされた場合には、学校にご相談ください。